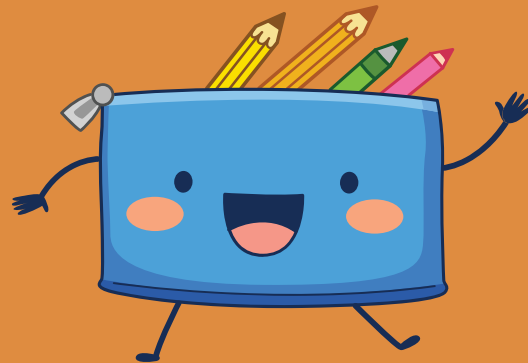
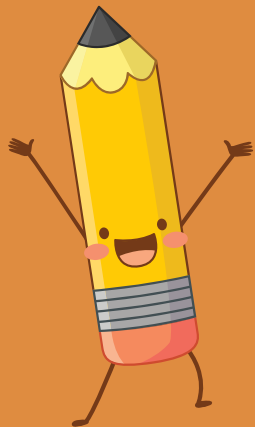


根釧くろーばーねっと勉強会2025

特別支援学校における センター的機能について

2025年6月27日



センター的機能とは？

中央教育審議会 特別支援教育を推進するための制度の在り方について（答申）

2. 特別支援教育のセンター的機能について 平成17(2005)年12月8日

1. 小・中学校等の教員への支援機能
2. 特別支援教育等に関する相談・情報提供機能
3. 障害のある幼児児童生徒への指導・支援機能
4. 福祉、医療、労働などの関係機関等との連絡・調整機能
5. 小・中学校等の教員に対する研修協力機能
6. 障害のある幼児児童生徒への施設設備等の提供機能



センター的機能とは？

文部科学省『特別支援教育の推進について(通知)』 平成19(2007)年4月1日

4. 特別支援学校における取組

(2) 地域における特別支援教育のセンター的機能 特別支援学校においては、これまで蓄積してきた専門的な知識や技能を生かし、地域における**特別支援教育のセンターとしての機能**の充実を図ること。特に、幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び中等教育学校の要請に応じて、発達障害を含む障害のある幼児児童生徒のための**個別の指導計画の作成や個別の教育支援計画の策定などへの援助**を含め、その支援に努めること。また、これらの機関のみならず、保育所をはじめとする保育施設などの他の機関等に対しても、同様に助言又は援助に努めることとされたこと。特別支援学校において指名された特別支援教育コーディネーターは、関係機関や保護者、地域の幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校及び他の特別支援学校並びに保育所等との連絡調整を行うこと。



聴覚障がい教育部門 教育相談（3歳～）

◎お子さんについて、このようなことを心配されていませんか？ お気軽にご相談ください。

- ◇呼んでも振り向かない。
- ◇音の出ている方向がつかめず、キョロキョロする。
- ◇電話のベルやチャイムに気づかない。
- ◇テレビに近づいて見たり、音を大きくする。
- ◇一人遊びが多い。
- ◇発音がはっきりしない。
- ◇話し声が大きい。
- ◇他の人の様子を見て行動している。
- ◇用事のあるときは身ぶりて訴える。
- ◇聞き間違いやかん違いが多い。
- ◇人とかわかろうとしない。
- ◇ほかの子よりも発達が遅れているように感じる。 など

- ・相談は無料です。
- ・相談内容について秘密を厳守いたします。
- ・相談する中で、関係機関との連携が必要になった場合には、相談者の承諾を得た上で、連携を図ります。

【学びや育ちに関わる相談】

特別支援学校の「**センター的機能**」を生かして、地域の特別支援教育の実践を支援しています。



お子さんのことで気になることがあれば、**お気軽に御相談ください。**

- 学びや育ちにかかわる相談
- 個別の指導計画、個別的教育支援計画の作成等
- 各学校や団体で行う研修会の講義等
- ※発達障害の理解や特別支援教育に関する内容
- 心理検査用具の貸し出し
- ※詳細はご相談ください。



相談について

- ・来校による相談や通信機器(Google Meet)を活用した面談ができます。
- ・保護者の方、学校関係の方等の相談に応じています。

相談方法

- ①本校に連絡をし、日程を決める。
- ②下記の「教育相談受付票」に必要事項を記入する。
- ③相談日当日に書類を持参する。

連絡先

北海道中標津支援学校
担当：コーディネーター
TEL：0153-72-6700
Mail：n-shien-soudan@hokkaido-c.ed.jp

相談



0歳からの
すこやかな育ちのために



お子さんの成長を
一緒に考えましょう



遊び



支援

北海道釧路鶴野支援学校
乳幼児相談室
乳幼児教育相談

あなたの学びたいことを応援します

～特別支援教育に関わる個別研修のおしらせ～

「研修の機会が少なく、出張して参加することがなかなか難しい。」「○○の教材・教具について知りたい。」等といったご要望はありませんか。
こうした、日頃学びたいと思ってもなかなか学ぶ機会がないという方のため、個別的な研修を受け入れていきます。

パートナー・ティーチャー派遣事業は各学校への支援を主に進めていますが、自分自身の専門性の向上のために、個別研修もどうぞ活用ください。

北海道釧路養護学校 地域支援部



お申込み方法



- 釧路管内の特別支援教育に携わっている方であればなたでも申込みしていただけます。
- 研修受入れ期間は**9月～12月、平日のみ**です。
- オンライン（Zoom、もしくはGoogle meet）による研修も受け付けております。15時から16時50分までを基本とし、1回につき1時間程度とします。
- コロナウィルスの感染状況によってはお受けできない場合がありますので、ご了承ください。
- 申込用紙に必要事項を記入の上、FAXまたはE-mailで送信してください。
- ※併せて確認のためお電話をいただくと助かります。
- 申込用紙は本校ホームページからもダウンロードできます。
- 記入に当たって、できるだけ具体的に研修内容を記入していただくとよりニーズにあった研修をこちらで計画できます。
- 団体での学校見学等については、別途ご相談ください。
- 本校職員が出向いて行う研修ではありません。
- 問い合わせ等はコーディネーターまたは、教頭まで。

「教育相談」発達にかかわる相談

本校では「センター的機能」として地域にお住まいの学齢期の児童・生徒を対象に
来校による発達にかかわる相談を実施しております。

【相談内容例】

- ・発達障がい（LD、ADHD、ASDなど）についての相談
- ・知的障がいについての相談
- ・福祉サービスへの連携に関する相談（就労支援、療育手帳取得など）
- ・ユニバーサルな授業づくりについての相談
- ・「合理的配慮」についての相談

など

根釧くろーばーねっと各校HPより引用

根釧地区におけるセンター的機能の事例

- 北海道教育委員会→「パートナー・ティーチャー派遣事業」
- 教育局→「専門家チーム」
- 各学校→「見学会」「説明会」「体験会」「教育相談」

- **〇〇町の〇〇協議会・教育支援委員会等からの研修講師依頼**
 - 「特別支援学校について」
 - 「特別支援学校への就学について」
 - 「特別な支援を必要とする児童生徒に対する対応方法Q&A」
- **各市町の小・中・高等学校から児童の指導に関する困り感に対する相談**
 - 「来校・通信(Meet)による相談」

など



参加者のみなさまへ

○特別支援教育が始まって18年目。各地域でかなり特別支援教育が浸透。

→小中学校等でも特別支援教育にかかわる専門的な実践事例多数！

○初めての特別支援教育、「何をして良いかわからない」「自分の指導があっているのか」不安、心配

→①一人で抱えず、身近な先生に相談 ②在籍校のCoに相談 ③校内支援委員会の開催
④センター的機能を活用

○センター的機能の活用

→「相談」「研修」等の他にも、
関係機関へ「つなぐ」、より専門的な方に「つなぐ」

最後に・・・

○

- ・「情報であふれている時代」
→自ら、取りに行く必要性が↑↑
- ・「主体的な学び」「対話的な学び」
が求められている児童生徒
→私たち「教師」も同じ??

【キーワード】

○

「つながる」→「アップデート」→「やってみる」→「フィードバック」